森町立天方小学校　学校だより
平成２５年度第５号

まるやま

学校教育目標
自分のよさを発揮する子

㋐　明るいあいさつのできる子(心づくり)
㋺　すすんでまなぶ子(知恵づくり)
㋕　運動をがんばる子（体づくり）
㋟　心も体もたくましい子（土台づくり）

地域ぐるみで子どもを育てる
－「天方っ子を語る会」で意見交換－

本校では、子どもの様子や学校での取組などについて情報交換を行い、地域ぐるみで子どもたちを育てることを目的に、平成9年から「天方っ子を語る会」を開催しています。

本年度は、右表のとおり12名の方々に会員となっていただき、6月7日に第1回天方っ子を語る会を開催しました。会員の皆様から出された意見は、次のとおりです。

（敬称略）

No.	氏名	役職等
1	吉筋　恵治	地区振興連絡協議会顧問
2	井口　美智之	ライオンズクラブ代表
3	松井　博	天方地区振興連絡会長 天方地区町内会会長
4	増田　和彦	天方駐在
5	市川　聰	天方地区商店代表
6	小澤　由彦	体協天方支部長
7	常木　三惠	主任児童委員
8	倉橋　和夫	民生児童委員(大鳥居・問詰)
9	竹下　彰博	同　(西俣)
10	竹下　絹子	同　(葛布･黒石)
11	岡本　佑吉	同　(鍛冶島･亀久保･嵯塚)
12	船木　保	天方小学校　ＰＴＡ会長

1　あいさつについて

○　地域の中で見ていても、今年度は昨年度以上に、あいさつがよくできている。
○　頭を下げるだけでなく、とても元気な声であいさつしてくれる。
○　あいさつ週間などの学校での取組が成果として表れてきているように感じる。
○　保護者や地域住民もしっかりあいさつできることが、子どもを育てる上でも大切である。ぜひ、あいさつ週間などについては、家庭や地域を巻き込んだ取組にしてほしい。

上記のように、地域での子どもたちの様子をほめていただき、嬉しく思います。学校だより第4号でお伝えしたとおり、あいさつ週間における子どもたちの自己評価は9割を超える高いものになっています。あいさつ週間には、教師が昇降口で迎えたり、子どもたちも正門に立ったりします。また、あいさつができている子を放送で紹介します。

「家庭や地域を巻き込んだ取組に」との御意見についても、参考にさせていただきます。ありがとうございます。

2　ゆめの集いについて

○　友達のよさを見つけ、全校の前で発表することは、とても良い取組であると思う。このようなことで名前が挙がることは、「見ていてくれている」と感じることができ、励みになると思う。
○　名前が挙がる子は何度も発表される反面、年間を通して一度も名前が挙がらない子どももいるのではないかと心配する。

御指摘をいただいたとおり、どの子が何回紹介されたかといったことを詳細にチェックすることまでは行っていませんでした。今後は、名前が挙がらない子どもについて、その子の良さを教師が他の子に教えるような支援を行っていきたいと考えています。

３　複式学級について

○　来年度から複式学級になることについて、不安を抱いている。単純に考えると、半分の時間は自習になるのではないか。そうなると学力低下のおそれもある。

○　子どもたちに適した環境を用意してあげることは、大人としての責務である。

○　地域としてできることがあれば何でもやる。したがって、来年度から複式学級になることについて、どのような課題があるのか、地域としてできることはあるのかなど、何でも教えて欲しい。

浜松市立浦川小での視察(聞き取り)の様子

来年度から複式学級になることについて、学校としても大変危機感を抱いています。そのため、本校と同規模で、すでに複式学級になっている学校を全職員で分担して視察することにしました。浜松市立浦川小をかわきりに、森町立三倉小、浜松市立佐久間小、和歌山大学附属小、島田市立相賀小の計５校への視察を計画しています。

視察を通して、主に①教育課程の編成の仕方について　②2 学年が別の授業を行えるような教室環境について　③複式での授業の行い方　の３点について学びたいと考えています。

保護者や地域の方々に、「複式になったら学力が下がるのでは･･」と不安を抱かせることがないように、視察で学んだことをもとに、本校なりの対応策をまとめ、年内にはきちんと説明できるように取り組んでいきたいと考えています。

「心の中に３つのカエルを育てよう」
－会礼(6 月 4 日)での校長の話－

１つ目のカエルは、「**考える**」です。考える力は、授業を集中して受けているとぐんぐん伸びていきます。考えれば考えるほどこの力は大きくなって賢くなっていきます。しかし、授業に集中していないで、手いたずらばかりしていると考える力はどんどん小さくなってしまいます。

次のカエルは、「**切りかえる**」です。いつまでも同じことを考えていてもよい考えが浮かばないことがあります。また、失敗したことをいつまでもくよくよしていることがあります。これは切り換えることがうまくできていないのです。うまくいかなかったときは、いつまでも後ろを見ているのではなく、前を見て次のことに気持ちを集中させると、きっとよいことにつながっていきます。

最後のカエルは、「**振りかえる**」です。このカエルはもう終わってしまったことを振り返ります。実は、このカエルは自分を成長させる上でとても大切なカエルです。何度注意されても同じことを繰り返すのは、この振り返る力がありません。なぜ、うまくいかなかったのかを振り返ることにより、同じ過ちをしないように努力する事ができるのです。

この３つのカエルには、共通したものがあります。それは、先生や友達が与えてくれるのではなく、自分自身の力で心の中に育てていくものです。「**考える**」「**切りかえる**」「**振りかえる**」のカエルをしっかり育てて、人として賢い人間になりましょう。